教科:英語表現 IA(|年生)

担当:チャールズ・山脇

# テーマ:オンラインツールを用いて、Speaking の力を向上させる(2021 年度)

英語科では、英語表現 I (2単位) を A (I単位) と B (I単位) に分けて指導を行っています。A の授業ではチャールズ先生との TT で、主に Listening と Speaking の力を身につける実践を研究しています。

## 使用教材・アプリケーションなど

- ·MAINSTREAM English Expression I SECOND EDITION (增進堂)
- ·Festa!(デジタル・ナレッジ、増進堂)
- ·Grammarly, Google Classroom

## 授業の流れ

【教科書: | 時間で | Lesson 】

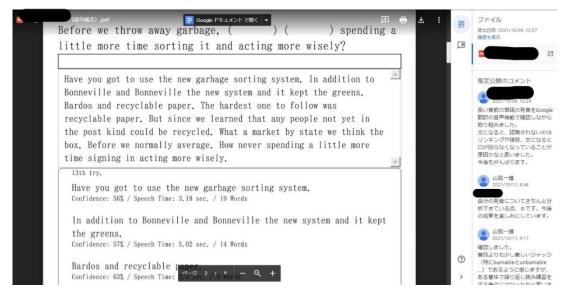
- ①Warm-up: Kahoot! (Quiz) 単元に関わる英単語・熟語・知識について 4 択クイズに挑戦
- ②Listening: モデル文章の Listening → 聞き取れた単語や重要語句を用いて、元の文章を英語で再構築し、 パートナーに伝える → その後、シャドーイング練習やオーバーラッピング練習を行う
- ③Festa!: モデル文章の読み練習を行う
- ④Review: Kahoot! (Puzzle) モデル文章に関する並べ替え問題に挑戦する
- ⑤Listening: 関連英文の Listening 問題に取り組む

#### **%Festa!**

デジタル・ナレッジの AI による学習支援ツール「トレパ」に、教科書と連動したコンテンツを搭載した、PC やタブレット・スマートフォンなどで利用できる英語の4技能学習サポート教材です。本校 66 期1年生では、各生徒が持っている Chromebook にこのアプリケーションをダウンロードし、日々の授業で活用しています。

授業中に提示するモデル文章を「正しい発音で」「流暢に」読む練習を、時間を区切って行っています。Festa!上で流れるモデル音声を確認し、その後、自分自身でモデル文章を音読・録音し、どれだけ「正確」かつ「流暢」に発声できているかを確認します。モデル文章を一文一文、ときには一単語ごとに繰り返し練習し、自信をもって英語で話すことができるように訓練します。

Festa!を用いると、ただ音読の練習をするだけでなく、常に「正確性」「音読のスピード」の達成度が表示され、それを記録として保存することが可能です。授業では、モデル文章全文の音読の練習を、家庭学習では穴あき本文の音読練習と、「文ごとの音読練習を行っています。その記録を、毎週 Classroom 上で提出することを求めています。



### 【発表:準備に3~4時間、発表で2~3時間】

普段の授業で練習してきた自身の Speaking 力を発揮する場である、と生徒に伝えています。

生徒:第1次原稿提出 → 山脇:原稿添削後、返却

生徒:最終原稿提出 → 山脇:原稿添削後、返却

生徒:最終原稿を Festa!を用いて練習し、記録を提出 → 山脇:確認し、返却

の流れで準備を進めています。年間を通して、Speech を I 回、ビデオ撮影による Speech を I 回、Presentation を 2 回 (ペア、グループ) 実施する予定です。

## **%**Grammarly

生徒の原稿や writing の添削に非常に時間がかかることが課題でした。文法面、内容面の2系統から添削を行う必要があるため、正直骨の折れる業務です。そこで昨年度より、文法面の添削をオンラインツールの Grammarly を用いて行うことにしています。生徒自身が作品を提出する前に、Grammarly を用いて、自身の表現や文法が正しいかどうかを確認させるようにしています。

本年度すべての生徒が G-Suite アカウントを持っているので、発表原稿や自由英作文などは、Google Document上で作成し提出することとしています。

